

西柴防災ニュース

西柴団地自治会防災部

横浜市金沢区西柴四丁目1-11

前回のNo 43号で「災害時の行動」で震災や風水害時の避難についてご紹介させて頂いておりますが、今回は「広報よこはま」で掲載されている避難場所の開設条件や開設者、配給物資の有無、医療体制などが説明されていますので、改めてご紹介させていただきます。また、拠点運営委員会の役割等についてもレポートします。

金沢区の避難場所について 知っていますか？

近年、全国各地で大きな災害が発生しています。災害の種類によって、開設される避難場所は異なります。災害により避難が必要となった際に、すばやく安全に避難できるよう避難場所について確認しておきましょう。

大地震と風水害の避難場所は違います！

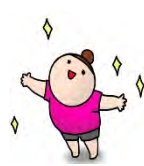
横濱区防災担当係長 榎 誠

震災のとき	風水害のとき				
地域防災拠点 (指定された区内26の小中学校)  地域防災拠点を記載した、「金沢区防災マップ」を防災担当(6階603)窓口で配布しているほか、区ホームページにも掲載しています。 金沢区 防災マップ 検索	区内5か所の風水害避難場所 ● 西柴中学校(体育館) ● 釜利谷東小学校(体育館) ● 大道小学校(体育館) ● 六浦地区センター ● 関東学院大学 横浜・金沢八景キャンパス12号館 ※災害規模などにより上記以外にも開設する可能性あり(詳しくは7ページをご確認ください)				
開設条件 市内1か所でも震度5強以上を観測 	開設条件 気象庁が土砂災害警戒情報を発表 または 横浜市や金沢区が避難情報を発表 ● 避難準備・高齢者等避難開始 ● 避難勧告 ● 避難指示 				
開設者 各地域防災拠点の運営委員会 (主に地域住民の皆さんで構成) 	開設者 行政職員 				
配給物資 あり (最低限の水と食料など) 	配給物資 原則なし (必要なものは自宅から持参してください) 				
避難方法 原則徒歩 	避難方法 原則徒歩 				
医療体制 ● 各拠点に医療救護隊が巡回診療 ● 症状の重さに応じて医療機関にて受診 <table border="1"> <tr> <td>きわめて軽症：自 助</td> <td>中等 症：災害時救急病院</td> </tr> <tr> <td>軽 症：診療所</td> <td>重 症：災害拠点病院</td> </tr> </table>	きわめて軽症：自 助	中等 症：災害時救急病院	軽 症：診療所	重 症：災害拠点病院	医療体制 原則通常どおり
きわめて軽症：自 助	中等 症：災害時救急病院				
軽 症：診療所	重 症：災害拠点病院				

防災倉庫の中を見てみよう！

in 称名寺東公園

防災倉庫は第1と第3公園にもあります



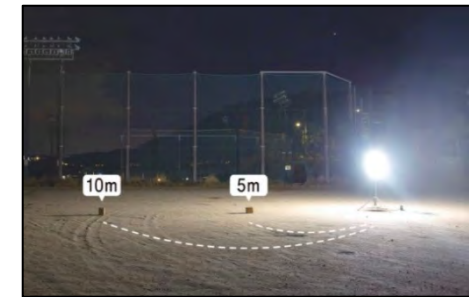
中はこんな感じです
整頓され、見やすく
なっています

収納物

発電機、電源コード、ポータブル蓄電器、
照明器、ソーラーパネル、リヤカー3台、
救護用担架3台、救護用ベルカ担架3台、
防災ツールキット3組、軍手48-120双
(6, 8, 9ブロック分なので各3台です)

照明器

コレです↓



360° 全方位照射でき
遠くまで照らすことが
出来ます



オレンジ色の袋に入っています



開けるとこんな感じです



組み立てました

発電機と蓄電器にもつないで
点灯するか確認してみました
どちらもきちんと点灯しました



新しく購入した防災機材の動作確認をしました

発電機



ポンベ2本で発電でき、
約2時間使えます

使い方

- ①カセットボンベをセットし、レバーを押し込んで固定する
- ②運転と書いてある方につまみを動かす
- ③紐を引いて作動させる（稼働音がします）

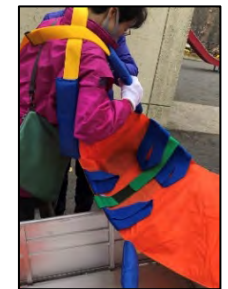


女性の力でも大丈夫
見事なフォームです



持ち手を引き出すことが
出来て、持ち運びに便利

救護用ベルカ担架



とっさの救護が必要な時、1人で人を持ち上げることが出来ます。
緊急時に車いす利用者や歩行に時間がかかる方の移動の手助けに便利です
通常は2人担ぎで、状況に応じて1人または3人で担ぎます。



1人担ぎ

2本のベルトを背中中で交差させ、頭と足の左右のベルト2本を握りゆっくりと持ち上げて下さい。



2人担ぎ

左右からベルトを肩に掛けて、両手で頭と足のベルトを握りゆっくりと持ち上げて下さい。移動は矢印方向へ、担ぎ手が上体を向けて歩いて下さい。



3人担ぎ

2人担ぎの持ち方で頭部を、もう1人でベルトを握り、ゆっくりと持ち上げて下さい。
(身長が170cm以上の方や体重の重い方には3人担ぎが安心です)



よく見かける担架も収納されています

リヤカー



コンパクトに折りたたんで
収納されています



パンクしないタイヤが使われています

自治会関連のある
団体やサークルに
貸し出し可能です

ポータブル電源 (蓄電器)



発電機とつなぐと
電気がたまります



この箱に収納
されています



ソーラーパネルとつないで
太陽光での充電も可能です
ソーラーパネルも防災倉庫
に収納されています

【地域防災拠点（指定避難場所）】

西柴団地自治会と横浜サウス自治会の区域は、**西柴小学校が指定**されています。

横浜市域で1箇所でも震度5強以上が観測された場合に開設され、

地域の住民が一時的に避難生活を送る場所です。

【西柴小学校地域防災拠点の災害時の主な役割】

- (1) 安心できる避難生活の維持
- (2) 的確な地域情報の収集、地域への情報提供、行政機関等との調整
- (3) 地域の被災者の救護・救援
支援物資、ボランティアの受け入れ、配給

【西柴小学校地域防災拠点運営委員会】

以下の方々に構成され、避難場所運営の中心的な役割を担います。

- ① 西柴団地自治会・横浜サウス自治会の住民代表
- ② 西柴小学校管理者 ③横浜市職員（金沢区災害対策本部学校拠点班員）
- ④ 金沢消防団第二分団団員 ⑤災害ボランティアネットワーク等

【避難所の主な備蓄品】

公助により、安心できる避難生活の維持を目的に、給水や炊事に必要な機材や発電機・照明機器・トイレ・通信機器・救助資機材・応急手当用品・毛布・衛生用品等が備蓄されています。

食料は、水缶詰(2000缶)・クラッカー(1000食)・缶入り保存パン(1000食)・おかゆ(460食)・スープ(220食)等が備蓄されています。

【避難場所の様子】

※今は間仕切り等で間隔を確保



しかしながら、避難所はあくまでも一時のものです！

備蓄品等にも限りがあります！

やはり、自助による備蓄(最低でも3日分)が

重要になると思います！！